



夢膨らむ里浜の未来

「カーミーギー」で初のWS

県のサンゴ礁ウィーク2017関連イベントとして、26日県立博物館の県民アトリエでワークショップ「カーミーギーの夢づくり」（うらそえ里浜ネットワーク主催）が開かれました＝写真。会場にはしかたに自然案内のこれまでの研究成果や港川小学校の学習成果、環境ポスター、自治会の活動写真などを展示、ワークショップにも約50人が参加しました。カーミーギーでの思い出や将来の保全と活用への思い一等多彩な意見が出されました。ネットワークではこの日の意見などをまとめ、市が12月策定予定の「里浜条例」への反映を目指すことにしています。



3月の行事お知らせ

【アーサを探ろう】 18日（土）

午後3時半までに現地駐車場集合
 時期的にはそろそろ最後です。も
 ずくもとれます。濡れてもいい服装。
 寒さ対策が必要かも。（雨天中止も）

【ミニバスツアー】 22日（水）

4日オープンした「沖縄空手会館」

見学、久しぶりに糸満西崎の「道の駅」で買い物などを予定。空手会館では様々な武具や歴史資料などの展示室見学（入場料100円）がメインになりそう。65億円をかけた建物、内装なども見所。今後の子や孫との話題づくりにも役立つのでは！午後1時公民館集合出発。上地城は1時半宮城さん方駐車場

エイサーや空手、ダンス演舞 習字も作品展示

～浦添市の28年度「学びフェスタ」～

習字だけで30人余 延べ約70人が参加

充実した放課後活動の成果伸び伸びと表現



（写真）左から展示された習字作品の一部、舞台発表するエイサー、空手、ダンス



ゆくいだき〜ときどき閑話

全国を騒然とさせた「森友学園」問題。ただ同然の国有地売却から始まり、安倍総理夫妻の関わりやついには国会議員関与も疑われるなど、連日問題は広がるばかりだった。それが急転直下「小学校設立認可要請の取り下げ」が報道された。問題の裏で取り沙汰されたのは、教育勅語や愛国教育など憲法改正を先取りしたような学校経営と教育方針だ。憲法改正を掲げる政治家や自民党政権にとっては、これ以上疑惑だらけの「森友」問題を放置するわけにいかなかったのではないかと。「急転直下の解決」ではなく「臭いものに蓋」にしか思えない。「共謀罪法案」が通れば、物言う国民には「法の名の下」で抑圧してくるだろう。現に沖縄では辺野古新基地に反対する活動家が異常に長期拘留されている。差別？それとも強権統治の現れなのか？問題の根深さを感じる。

ご寄付に感謝

「地域の活動に役立てて下さい」
 ポーグトーマスジョイナーさん（8班）は故母・屋宜千代さんの「香典返し」として、この程金一封をご寄付下さいました。有り難うございます。

定期総会お知らせ

港小新校舎での開催を検討
 学校側の都合もあり4月末の土曜を含め調整中。新設された地域連携室の活用と新校舎見学が目的です。